

## 将来都市像（素案づくり）

令和4年7月

### 案1 クリエイティブな里山で 一人ひとりが夢をかなえる <sup>うつくしき</sup>美 四季いいやま

別案：世界一のクリエイティブな里山 ～一人ひとりが夢をかなえるまち いいやま～

飯山市の最大の魅力は明瞭で美しい四季のある自然環境。それはどこにでもあるような自然ではなく、人の手が加えられ人の営みによって生み出された「里山」である。その風景、環境は世界一と言える。その里山を舞台に、アイデアを出し合いながら、環境に配慮しつつも、まちの賑わいづくり、観光、文化など日常も含めたあらゆる資源をクリエイト（創造）していくことで、一人ひとりが夢をかなえていく。

#### 【主な関連キーワード】

- ・飯山市の特徴は里山（人の手が加えられた自然） ・世界一クリエイティブ（※）な里山、アート（※）創造的な、独創的な、創造力のある、工夫して作る、編み出されるなどの意味を持つ言葉。
- ・新幹線駅（自然の中の駅）やホテル建設を起点とした賑わいづくり ・道の駅プロジェクト
- ・四季がはっきり（八節季） ・楽しい関係（関係人口）で地域をクリエイト

### 案2 住みたいまち、住み続けたいまち ～100年先の飯山へ～

自然と人の営みが調和した洗練された田舎が100年先も続くよう、アイデアを出し合いながら、可能性が満ち溢れている資源をフル活用して、人口減少や新たな時代へ対応し、若者から高齢者が「住みたいまち」、「住み続けたいまち」と思えるような魅力あるまちを目指す。

#### 【主な関連キーワード】

- ・100年後のための10年 ・可能性にあふれている
- ・美しい日本のふるさとを守る ・前例がないことにチャレンジする
- ・新幹線駅（自然の中の駅）やホテル建設を起点とした賑わいづくり ・道の駅プロジェクト
- ・「住みたいまち」から「住み続けたいまち」 ・新たな時代へ挑戦
- ・循環型・持続可能な里山づくり ・地元に対して愛着を持っている人を増やす

### 案3 飯山郷創 <sup>きょうそう</sup> ～世界に拓く里山の未来～ <sup>ひら</sup>

飯山市は恵まれた自然環境や世界とつながる玄関口（新幹線）を有している「郷」である。新たな時代の幕が開け、魅力あるまちづくりを目指し、世界に誇れる「郷」づくりが必要である。一人ひとりが知恵を出し合って協働で取り組むイメージを「郷を創る＝郷創 <sup>きょうそう</sup>」として表現した。

#### 【主な関連キーワード】

- ・飯山はどこでもドア（大都市とつながる・外国とつながる） ・まちに自信をもつ
- ・世界一クリエイティブな里山 ・ワールドワイド（外国語教育等）
- ・新幹線駅（自然の中の駅）やホテル建設を起点とした賑わいづくり ・道の駅プロジェクト
- ・イノベーションを起こせる ・開かれた景観（他に無い景観・オープンな雰囲気）
- ・環境は世界一 ・考えさせられるビジョン